



二気二力

《 校 訓 》 気概 気品 協力 体力

《 学校教育目標 》

しなやかにたくましく、

夢に向かって前進し続ける生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校

令和5年度学校通信

第2号

令和5年5月25日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

3年生 修学旅行（南九州方面）

3年生は5月18日（木）～20日（土）に、入学後念願の宿泊行事である修学旅行に出かけてきました。保護者の皆様には、送迎でお世話になりました。5月8日からコロナの扱いが変わり、また、全国旅行支援が展開される中での旅行でした。長旅ではありましたが、新幹線内はゆったりとしたスペースで快適でした。バスレクの準備も含め、思い出深い旅行となりました。

初日（鹿児島県）は、知覧特攻平和会館で平和学習を行った後、指宿市で砂蒸し風呂（砂のサウナ）を体験し、日頃の疲れを癒やすことができました。

最初の訪問地である平和会館は、南（沖縄）を向いて合掌した外観で、隣には西南戦争や日露戦争の戦没者を祀る知覧町護国神社と、特攻隊員を祀る特攻平和観音堂が並び建っていました。観音堂で3年生が行った平和集会（群読、歌、オブジェ献呈）は、居合わせた観光客から感嘆の声が上がるほど、雨にも負けない力強いものでした。

桑代照明氏は警視庁退職後、知覧高等女学校在学中に三角兵舎で隊員の世話をした母（94歳）の意志を継ぎ、語り部をされています。知覧を飛び立った特攻機は、開聞岳で3周旋回したそうです。1周目は同僚と勝利を誓い、2周目は家族に別れを告げ、3周目は日本列島を目に焼き付けました。しかし、実態は、20歳前後の操縦経験の浅い若者が、性能の劣る旧型機や練習機に搭乗していたので、その多くは撃墜され、敵艦まで辿り着けたのは1割程度だったそうです。生前、隊員は遺された母のことを思い、満面の笑みで記念写真に収まったと聞かされ、やるせない気持ちになりました。



2日目（鹿児島県）は、エイを模した外観のおおワールドかごしま水族館で土産物購入やイルカショーを楽しんだ後、フェリー経由で垂水（たるみず）市に移動し、民泊体験をしました。



垂水市は民泊事業を推進しており、行政から地理「錦江湾（鹿児島湾）、桜島、高隈山系（外輪山）」と農水産業「きぬさやえんどう、カンパチ（養殖生産量日本一）、ブリ（輸出高日本一）」についての説明がありました。3年生はそれまで集団行動していたものが、入村式では9班に分かれて受け入れ先と初対面したので、さすがに心細そうで緊張した面持ちでした。しかし、アットホームな雰囲気の中、農作物の収穫や牛の世話などの手ほどきを受けたり、アート、スイーツ、釣り、蛍、温泉などを楽しんだりするうちに和み、離村式の時には家族のように打ち解けていました。

3日目（熊本県）は、日本三大急流の球磨川でラフティングを楽しみました。

川沿いのJR肥薩線は水害で線路が浮き、鉄橋が落ち、橋桁に流木が載ったままで、復旧の目処が立っていませんでした。さらに、改修工事で使った土嚢袋やブルーシートが経年劣化し、マイクロチップ化する問題も生じていました。それでも、コロナが落ち着き、観光客が戻り始めたことが復興支援につながっていると、スタッフから聞かされました。どんな状況でも、おもてなしの精神を失わなかったスタッフの手ほどきで、3年生は歓声を上げながらゴムボートを漕ぎ、川に飛び込み、アクティブな時間を過ごすことができました。



2年生 立志広島研修

2年生は5月11日（木）～12日（金）に、立志広島研修を行いました。保護者の皆様には、学校まで送迎していただき、ありがとうございました。

初日は、大和ミュージアム（呉市海事科学歴史館）を見学した後、G7 サミットを控え、警察官や警察車両で物々しい広島市に移動しました。八幡照子氏の被爆体験講話に始まり、平和集会（群読、千羽鶴献呈）、広島平和記念資料館見学、広島平和記念公園内の碑巡りなど、平和学習を精力的に行いました。資料館には、被爆した無念な中学生の遺品や生きた証が数多く展示されていました。先の大戦を知らない世代ではありますが、被爆の実相を見聞きしたことで、核兵器廃絶や尊い人命を奪う紛争の終結を願う気持ちを強くしました。



2日目は、フェリーで宮島に渡り、大鳥居が美しくリニューアルされた世界文化遺産の厳島神社に参拝しました。広島市に戻ってからは、OKOSTA でお好み焼きに挑戦。思い思いにトッピングを楽しみ、ソースの香りに食欲をそそられながら、広島のソウルフードを堪能しました。

1年生 牛窓研修（カリヨンハウスの巻）

1年生は5月10日（水）に、前島の牛窓研修センターカリヨンハウスを主会場に研修を行いました。フェリー（からこと丸）のラッピング（波、オリーブ）は、昨年度本校生徒が図案化したものです。また、保護者の皆様には、綾浦コミュニティまで送迎していただき、ありがとうございました。

晴天の下、午前は長距離のウォークラリーに挑戦。誰一人離脱することなく、ゴールのカリヨンハウスに到達することができ、感動しました。道中、大阪城築城残石群に立ち寄り、巨大な岩を切り出し運んだ400年前の技術に驚かされました。

午後はいかだ作りに悪戦苦闘。自作のいかだを夢中で漕いだ結果、翌日は筋肉痛になりましたが、それも楽しい思い出です。

以上、牛窓研修を通して、3小学校から集まった仲間と親睦を深めるとともに、3学年を貫く牛窓学習をスタートさせました。7月7日（金）には、ヨットハーバーの巻を企画しています。



岡山県では、目指す子どもの姿を「自分の頭で考え、自分の言葉で語り、自分の意志で行動できる」に設定し、その姿に近づくために課題解決型学習 PBL（Project Based Learning）を推奨しています。これを受けて、本校では総合的な学習の時間を中心に郷土ゆかりの資源を活用しながら、3学年を貫く牛窓学習に取り組んでいます。旅行・集団宿泊的行事においても、港町として栄えた歴史を踏まえ、中1で前島、中2で宮島、中3で桜島行きフェリーに乗船したり、体験活動にレジャー、郷土料理、民泊を盛り込んだりするなど、工夫を凝らしています。旅行・集団宿泊的行事では観光客目線で訪れていたものが、中3時に地域創生案を考えるときには、観光客をもてなす目線に変わっていくことを期待しています。引き続き、持続可能な開発目標 SDGs（Sustainable Development Goals）との関連を意識しながら、中3時に集大成として町の未来について考えるための材料を提供していきます。

以上、地域の課題に本気で取り組む人々や、牛窓愛溢れる真正の芸術家との交流を通して、目指す子どもの姿に近づけるよう努めて参ります。

5月の論語

君子は和して同ぜず。小人は同じて和せず。

教養・徳性を身に付けた君子は、人と協調・融和できる。だからといって考えもなく人の意見に同調することはない。しかし、教養も徳性も身に付けていない人たちは、自分の意見もしっかり持っていないので、簡単に人の意見に同調するが、自分の周りの人と協調できない。「意見の違いを理解し仲良くしよう。」（クマ先生とよむ論語）